

# Global Aging Report Threats to Longevity

## < A Call to Action 抄訳 >

### 地理学からみた長寿

#### a. 人口高齢化

20 世紀の大きな変化として世界全体の人口高齢化が進んだ。2020 年までに多くの国では 1/4 が 60 歳以上となり、2050 年までには世界人口の 5 人に一人が 60 歳以上になる。先進国は高齢化する前に豊かになったが、世界の人口の 81% を占める開発途上国では、豊かになる前に高齢化が起きる。したがって、開発途上国の高齢者は最も貧しく弱い立場におかれる。現在、開発途上国 32 カ国における寿命は 50 歳以下であり、健康寿命は 40 年以下である。

#### b. 短命化

生産力と経済力が低い国々に短命化が起きている。多くの開発途上国では、貧困と短命化が進んでいる。シエラレオネ（アフリカ西部の共和国）では平均寿命 40 歳、健康寿命 29 年である。また、旧ソ連のいくつかの国では、エイズの感染や、ソ連崩壊の絶望感などからアルコール依存症になるなどで寿命が短くなっているところもある。

### 長寿を脅かすもの

#### a. 先進国における疾病

ワクチンや公衆衛生の進歩により、急性の病気の多くは克服した。代わりに“贅沢病”といわれる慢性疾患が問題となっている。WHO ではタバコは死につながる主要因であると報告している。

デヴィッド・バーカー氏によれば、慢性疾患は、胎児期や乳幼児期からの栄養状態や健康状態と非常に密接な関係をもっている。「老年医学」に関わる多くの病気は、高齢になって突然罹るものではなく、長い人生のなかにその要因がある。したがって、それらは「長寿の病気」というよりは、人生の初期に介入すると位置づけた方が良いのかもしれない。例えば、骨粗しょう症は、思春期に骨密度が完成され、蓄積されるものなのだ。

#### b. 開発途上国における疾病

公衆衛生の専門家たちは、伝染病はなくなると楽観的に予測をしてきたが、未だ開発途上国では深刻な問題となっている。世界の子どもの 20% は、予防できる病気のワクチン接種が受けられずにいる。

## 健康が富をもたらす

5年寿命が長いと GDP は年間 0.3~0.5%の割合で早く成長する。近年、健康の改善が経済とどう結びついているかについての方法論が多数開発されている。

## 長寿と財政

公的年金と医療を供給する政府の施策は、市民社会、NPO 団体、それに経済的安定と健康の維持のために働くことの重要性を認識している個人によって補足される必要がある。

## ヘルスケア

人口が高齢化するにつれて、より医療コストが高くコントロールの難しい病気への対応が必要になる。

## 新しいパラダイム

現在は基礎生物学の研究に 2 億ドルしか使われていないが、今後は特定の病気の研究とともに基礎となる生物学の研究にもっと財源を投じる必要がある。

## 長寿の不平等

長寿の不平等は社会経済的、地理的格差を含む多数の要因によっておこる。グローバル化は貧しい国より富める国に恩恵をもたらす。例えば、ヨーロッパと米国が農業助成を続けることは貧しい国には不利となる。そこで開発途上の国々を援助する新たな取り組みが開始された。

## 人権

2008 年は世界人権宣言 60 周年記念の年である。21 世紀に入り政治的圧力が強まっているのは明らかであるが、社会的・経済的・文化的権利、たとえば働く権利、財産への権利、女性や少数民族の権利などが、経済的安定と仕事を必要とする人の生活を改善に導いている。

## 何ができるか？行動への呼びかけ

1. 6種のワクチン耐性疾患から守られていない子供たちの 20%を救済すること。子供たちに塩分や糖分などにミネラルを強化した食品を与えて栄養目標を達成する。
2. マラリア蚊に対する防御用医療ネットや下痢の子供を救うための再水和剤セット (rehydration kit)を広く入手可能にする。
3. 文化面に十分な配慮された教育システムの構築と拡充。それは同時に男女平等と、開発途上国における人材開発を促す。

4. 高齢者に特化した言及はないが、国連ミレニアム開発目標を推進すること。すなわち、貧困と飢餓の根絶、全世界における初等教育の実現、性の平等と女性の権利の強化、幼児死亡率の低下、妊婦の健康促進、HIV/AIDS、マalaria、その他の病気とのたたかい、環境的持続性の確保、開発のための世界的な協力関係の確立が求められる。この目標は2000年に設定され、達成目標年を2015年としている。
5. WHOの「健康の社会的決定因子に関する委員会」の中心となっているMichael Marmot卿の研究で例示されている健康と長寿の公平性を求める活動をサポートする。決定因子の中には社会経済的ステータス(貧困)や人種も含まれる。
6. 非営利の製薬会社の設立、または製薬会社の知的財産を感染性の或いは慢性の病気に対する有効な薬剤を広く入手できる営利、非営利のいずれの会社にも魅力あるものにする公正な協定締結。Victoria Haleによって設立された「世界保健研究所」はビル・ゲイツ財団の財政支援を受け、開発途上国において安価で医薬品を提供するためにデザインされた米国初の「非営利の」製薬会社となった。
7. 効果的な治療の研究に基づく、予防・療法サービスのシステム作り。
8. NGO団体の活動強化を通じた市民社会レベルの運動の国際的連携。一つの例は、Jody Williamsによって設立されたNGO団体の連合によるBan Landminesに対する国際的キャンペーンであり、彼女はこれによってノーベル平和賞を受けた。この連合は非人道的な地雷の生産や使用を廃棄するために絶えず活動している。他の例としてはHelpAgeと「国境なき医師団」がある。
9. 2003年以来これまで168カ国が同意した、喫煙制限に関するWHO協約の枠組をサポートすること。この協約の目的はタバコの価格、宣伝活動、ラベル表示、不法輸出入、間接喫煙に関する国際基準を明確にすることである。
10. 高齢者の人権を擁護するための宣言と協約を作り上げること。
11. 「政治的・市民的権利に関する国際規約」、「経済的・社会的・文化的権利に関する国際規約」の全世界における批准。
12. 国連並びに、国連人口基金、世界保健機構、高齢化に関する国連マルタ研究所を含む機関の強化を図ること。
13. 安価で良質な医療へのアクセス、性生活、性感染症に関する情報と適切なサービスの提供などを含めた、女性の健康に対する生涯を通じた研究のサポート。

14. 国際ソーシャル・セキュリティ協会による、世界規模のソーシャル・セキュリティ・プログラムのサポート。
15. 気候変動に対する取り組みのサポート。
16. 世界中で深刻な不足状況にある、習熟した医療・介護労働力確保に向けた教育機関の設立。
17. 貧しい人々に対する特別製のコンロの提供。毎年、1,400 万の人々が大気中の毒素を吸って死亡している。
18. ヨーロッパと米国における農業助成金の段階的廃止。
19. 持続可能な福祉を促進するための科学技術の発展。
20. 社会的変化への対応において高齢者に重要な任務を果たしてもらうこと。前南アフリカ大統領のネルソン・マンデラは「高齢者会議」を招集し、そこには元アメリカ大統領ジミー・カーター、ビショップ・デスモンド、アナン前国連事務総長、前アイルランド大統領メアリー・ロビンソンなど世界の主要な政治家やノーベル賞受賞者が集結した。

我々は効果的な変化を促すために国境を越えて活動する教育者、科学者、研究者の団体を設立することにより、「国境なき医師団」モデルをつくり上げる必要がある。

#### 結論

結論として、先進国がなぜケアするべきなのか？ なぜなら、我々は長寿化の問題と共にインフルエンザの流行、グローバル化による経済的問題、気候変動、エネルギー問題、貧困問題などの大きな共通の課題に直面しているからである。

ILC グローバル・アライアンスに集結した 10 か国は、高齢化の課題に対して適切な対応を行えば、高齢化は経済的停滞をもたらすどころかむしろ、各国の富の拡大に寄与すること、且つ、世代間の確執や長老政治も生まれないことを確信している。しかし我々は遅れることは許されない。

我々は悲観主義、懐疑主義、シニシズムを排除しなければならない。そして、先進国はかつては貧しかったことを思い起こさなければならない。我々は人道的理由や、国際的経済発展の目的からのみならず、開発途上地域でいま起きていることは我々の健康と経済的保障、さらに国家の正義に関わる重大な影響を与えるからである。